

令和3年8月11日

関係各位

令和4年度診療支援部部門長候補者選考実施の通知
(臨床工学部門長)

診療支援部長 伊藤義広

このたび、診療支援部 臨床工学部門において、部門長の公募をいたします。部門長候補者選考は、部門長会議の決定を経て、院内および院外へ公募することになっております。広島大学病院の臨床工学部門を統括し、他部門と連携し、ご活躍いただける意欲のある方をお待ちしております。

選考方法

令和4年度部門長候補者選考実施要綱に沿って実施します。書類審査にて3名を上限として選考し、公聴会、公聴会後の面談、選考会議を経て決定します。書類審査は診療支援部長、副診療支援部長で実施し、審査結果と公聴会の日程は別に通知します。

公聴会は診療支援部の全構成員へ公開し、選考会議は運営支援部長、診療支援部長、副診療支援部長で実施します。選考結果を以て当該部門長候補者として病院長へ推薦します。

令和4年度診療支援部部門長候補者選考実施要綱

1. 選考実施責任者

診療支援部長 伊藤 義広

2. 重要項目と日程

公募期間	令和3年8月11日（水）～令和3年10月11日（月）
書類提出の期限	令和3年10月11日（月）17時必着
送付先	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 広島大学病院 運営支援部総務グループ宛 (封書に「部門長応募書類在中」と朱色で記すこと)
公聴会	令和3年10月28日（木）（応募者には詳細を別途通知）
部門長候補者決定	令和3年11月5日（金）（予定）

3. 部門長の業務内容と応募要件

当該部門長の業務内容と応募要件は別添にて示す

4. 提出資料

①業績調書

所定の「業績調書」を提出すること。

所定の様式1、2は下記アドレス（広島大学病院ホームページ 職員募集）よりダウンロードすること。 <http://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/bosyu/>

②筆頭論文

主な筆頭論文の写しを3編以内で提出すること

③部門長としての抱負

「部門の組織運営と部門長としての役割」800字程度を提出すること。
なお提出資料は返還しない事とする。

5. 書類選考

4名以上の応募があったときは書類審査により選考する。

選考基準は、応募条件を基準に業務実績・学術業績を主に選考する。

選考委員は、診療支援部長、副診療支援部長で行う。

6. 公聴会

応募者は「当該部門の将来構想と診療支援部との連携について」について 20 分間発表し、続いて 20 分間の質疑応答とする。聴講は診療支援部全構成員とするが、質疑は診療支援部長、副診療支援部長、主任部門長、部門長に限る。尚、公聴会終了後に、部門長候補者に対して面談を実施することがある。

7. 特記事項

公聴会と質疑応答について

会場は臨床管理棟 3 階 大会議室

公聴会開始時間：13 時 00 分

発表 20 分と質疑応答 20 分

各応募者への開始時刻については別途通知する

応募者は他候補者の報告を聴講できない

応募者は指定の時間までに控室に集合すること

司会者の指示に従い発表・質疑応答し終了後退席

8. 選考会議

選考会議は、運営支援部長、診療支援部長、副診療支援部長で実施する。

選考結果を当該部門長候補者として病院長へ推薦する。

病院長の承認を得て部門長の採用が決定する。

9. 問い合わせ先

診療支援部管理室 082-257-5358

byo-shinryosien@office.hiroshima-u.ac.jp

以上

別添

部門長の業務と応募要件

1. 部門長の業務

- 診療支援部長および管理室と連携し診療支援部の発展に努める
- 労働時間管理者として部門長および構成員の労働時間管理を行う
- 構成員の適切な労働環境の維持・改善に努める
- 構成員とコミュニケーションを図り、円滑な部門運営を行う
- 関係診療科および業務関係他部門長等と連携し、円滑且つ診療質の向上に努める
- 業務関係部門と連携し構成員の人材育成に努める
- 当該部門の将来展望を示し診療および学術・教育の支援を行う
- 広島大学病院の研究業績に貢献する組織運営を行う

2. 部門長候補者としての条件

- 臨床経験 15 年以上有していること
- 副部門長・主任または相当以上の役職経験を 3 年以上有していること
- 部門の管理業務、事務処理能力に優れていること
- 人事管理・人材育成の能力に優れていること
- 課題解決能力を有し実践経験があること
- 診療業務・教育・研究にバランスがとれていること
- 病院経営を理解し部門の経営分析ができること
- 学士以上であること（修士以上の学位を有していることが望ましい）
- 筆頭の学術論文（査読あり）を複数偏有していることが望ましい
- 学術・職能団体などでの社会的活動の経験を有していること

以上